



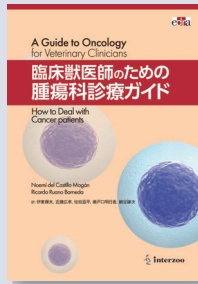
近藤広孝

日本大学 生物資源科学部 獣医学科 獣医病理学研究室 専任講師  
米国獣医病理学専門医(解剖病理学) 博士(獣医学)

体内の変化の過程を見極め  
一つひとつの命を次代につなぐ

# Recommend

## 近藤広孝先生が薦める、この4冊



### 臨床獣医師のための腫瘍科診療ガイド

著者：Noemi del Castillo Magán, Ricardo Ruano Bernaldo  
翻訳者：伊東輝夫、近藤広孝、佐伯直平、  
瀬戸口明日香、細谷謙次(50音順)  
B5判 並製 166頁

定価：13,200円(税込)のところ  
キャンペーン価格11,880円(税込)

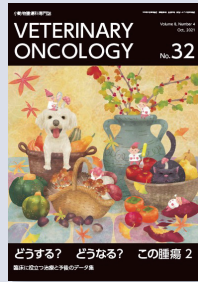


SalMedicine BOOKS

### 犬と猫の検査・手技ガイド2019 私はこう読む

編集：辻本 元、小山秀一、大草 潔、渡島 孝、中村篤史  
A4判 上製 822頁 ビニールカバー付き

定価：40,700円(税込)のところ  
キャンペーン価格36,630円(税込)



32号  
(2021年10月号)

近藤先生監修号

小動物腫瘍科専門誌

### VETERINARY ONCOLOGY

どうする? どうなる? この腫瘍2  
臨床に役立つ治療と予後のデータ集  
小動物腫瘍科専門誌 季刊誌 A4判 132頁

定価：7,150円(税込)のところ  
キャンペーン価格6,435円(税込)



### J-VET シリーズ

現在販売中の全号が対象となります。  
オンラインサイトにて商品をご確認ください。

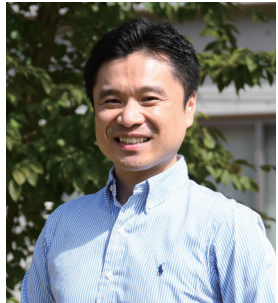
小動物臨床総合誌 A4判 96頁

定価：3,666円(税込)のところ  
キャンペーン価格3,300円(税込)



### Information

- 近藤先生の本インタビューは、Eduward Mediaサイトからお読みいただけます。詳しくは<https://media.eduone.jp/>にてご確認ください。
- 近藤先生からお勧めいただいた書籍が、期間限定にてお安くお買い求めいただけるキャンペーンを実施中(キャンペーンお申込期限:2022年3月末日まで)。詳しくは<https://eduward.online> もしくは専用チラシをご確認ください。



近藤広孝  
Hiroataka Kondo

日本大学 生物資源科学部 獣医学科 獣医病理学研究室 専任講師  
米国獣医病理学専門医(解剖病理学) 博士(獣医学)

### 経歴

- 2006年 日本大学生物資源科学部獣医学科卒業
- 2009年 日本大学大学院獣医学研究科博士課程修了
- 2009～2011年 フロリダ大学獣医学部 博士研究員
- 2011～2013年 フロリダ大学獣医学部 解剖病理学レジデント
- 2017年～ 日本大学生物資源科学部獣医学科 専任講師



EDUWARD Press

〒194-0022 東京都町田市森野1-27-14サカヤビル2階  
tel. ☎ 0120-80-1906 fax. ☎ 0120-80-1872  
<https://eduward.online>

DM : 70001826



## 探究の成果を獣医療の総合的な発展に活かす

—近藤先生が獣医療に興味をもったきっかけ、そして病理学の道を選ばれた経緯をお教えてください。

私は東京の下町で生まれ育ち、幼い頃からアヒル、亀、ハムスター、金魚、猫などさまざまな動物を飼っていました。動物に接する生活が当たり前だったのですが、その生死についても身近で、時には事故や病死などショッキングなこともあったことなどから、おのずと獣医師という職業を目指すようになったという感じがしています。大学ではまさに今所属している日本大学の獣医病理学研究室で学び、「もっと研究に没頭したい」と考えはじめました。大学院での研究活動やJICAの派遣獣医師としてのウガンダでの活動などを経て、「専門性をもっと磨きたい」との想いが高まり、米国への留学を決意したわけです。

—日本大学の獣医学科学生の所属希望アンケートでは、獣医病理学研究室が上位だそうですね。多くの学生を惹きつけ、近藤先生を没頭させた病理学の醍醐味とは？

病理学は地味な作業が多い領域ですが、探究心をグッと刺激される部分があると感じています。例えば「この動物がなぜ亡くなってしまったのか」、「なぜ治療が上手くいかなかったのか」など、飼い主さんや臨床獣医師が感じる疑問の答え、そして動物の体内で起こった変化の過程を病理医は自分の目で、顕微鏡をのぞいて実際に確かめられます。これがすごく面白い部分だと私は感じてますし、学生にとっても非常に勉強になる部分ではないかと思えます。

さらにいえば、病理解剖や病理組織学検査などで得られた多くの情報を蓄積し、学会、論文、商業誌などで広く公表することが非常に重要だと思います。その積み重ねによって、一つひとつの命を次の世代につなぎ、獣医療の総合的な発展に活かしていく。それが病理学の最終的な目標だと考えています。

## 「専門医」取得はゴールではなく、スタート

—近藤先生は米国留学経験があり、米国獣医病理学専門医の資格も取得しておられます。専門医資格の取得前後で、大きく変わったことはありますか？

資格取得前は、専門医というのは「何でも知っているスーパーマン」のイメージを勝手に抱いていたのですが、実際はまったく違いましたね(笑)。専門医として実際に働きだして気づいたのは、「専門医資格取得はゴールではなく、スタートだったんだ」ということです。専門

医になってみて初めてわかる自分の無知さ、無力さといましようか……。自分の今の限界点と目指すべき高みが見えるようになったことが、専門医になってよかった部分だと思っています。

—近藤先生は日本獣医エキゾチック動物学会の学術アドバイザーを務めておられます。病理学でこの分野を扱う先生は多くはないとお聞きしますが……。

私の場合、亀やハムスターなどのエキゾチックアニマルが大好きで、学生時代にハムスターの腫瘍の研究に携わったことや、さらに留学先のフロリダ大学での経験も大きく影響していると思います。フロリダ州は亜熱帯、熱帯に属し、大学の病理解剖に持ち込まれる動物も実に多彩。犬や猫はもちろん、馬、リャマ、ナマケモノ、ビューマのほか、体長5メートル以上もあるアナコンダなど、思いつく限りのさまざまな動物を病理解剖できる機会に恵まれたことなどが、今につながっていると思います。

## 治療の最前線に立つ臨床医をサポートする

—次に、先生の「学びの方法」についてお聞きしたいと思います。今はどんな形で取り組んでおられますか。

必要に応じて文献を検索したり、成書を読むほか、米国・国内の獣医病理学会に参加して知識を吸収するようにしています。臨床系の学会にも参加することで、今のトレンドや臨床の先生が興味をもっている分野を把握し、病理学が活かせる分野を広げやすいようにしています。また、この研究室では扱う動物種が非常に幅広く、爬虫類・両生類については、それらを自宅で飼っている学生から生態や分類を学ばせてもらうことも多いです。

—犬・猫などの小動物に限定して深掘りするのではなく、幅広い動物種を対象にすることの意義について教えてください。

例えば1つの疾患に目を向けた時、動物種の違いで疾患の成り立ちが少し違ったり、重症度が異なったりすることがあります。こうした比較を行うのが「比較病理学」という分野なのですが、1つの疾患に対して動物種ごとにさまざまな方向から眺めることで、知識や理解が深まり、幅広い視野でフレキシブルにものを考えられるというメリットがあると思っています。

—近藤先生のように比較病理学的視点をもつ方は、獣医病理学の世界に多いのでしょうか。

レアだと思います、おそらく(笑)。エキゾチックアニマルの分野に特化した情報はここ10年ほどしか積み重ねがなく、取り組みにくいのだと思います。それに、爬虫類や両生類は我々獣医師以上に精通した知識をもつ飼い主さんが多く、半端な情報では太刀打ちできないことも……。飼育環境が整って長生きする個体が増えたぶん、がんになるケースも増えたのですが、先行研究の情報は十分ではなく、最前線にいるエキゾチックアニマルの臨床の先生方は、まるで藪の中を分け入っていくような感覚で治療に取り組んでおられる状況にあると思います。

これらのことを考えても、エキゾチックアニマルの分野は臨床医、病理医ともに非常にチャレンジングな分野なのですが、逆にいえば得られた情報の一つひとつが業界の貴重な発見であり、やりがいも大きいはず。私自身、病理医として次のペットたちの治療に引き継げるような貢献ができれば、というのが大きなモチベーションにもなっています。

—近藤先生がお考えになる今後の獣医療発展の方向性、そして臨床医に向けたメッセージをお願いします。

獣医師の仕事の幅はどんどん広がりがつつあり、さまざまな働き方がこれからも出てくると思います。小動物臨床の世界に絞っても、犬・猫だけではなくエキゾチックアニマルの診療もしてみるなど対応できる動物種を増やしたいと考える先生も増えてきましたし、逆に専門性を磨こうという方向もあるでしょう。

病理医も獣医師の一人であり、臨床医の先生方と目指す方向は常に同じです。一症例、一症例、一所懸命に向かい合い、臨床医の先生方のサポートができるように検査に取り組んでいます。お目にかかる機会は少ないのですが、一緒になって日本の獣医療を盛り上げていきたいというのが、病理医としての私の想いです。